

特別支援学校(聴覚障害)と小学校との「交流及び共同学習」

<実践の概要>

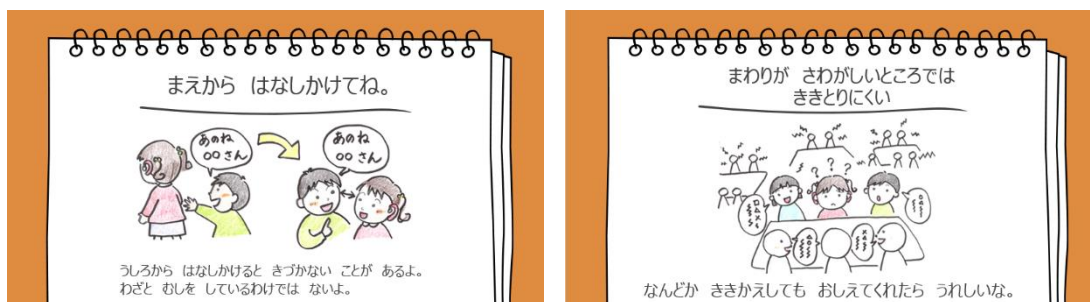
学 年	特別支援学校	小学校
	小学部1年	1年(通常の学級)
交流学習の時間	8時45分から9時30分	
教科・領域等	自立活動	学級活動
実施時期	9月上旬	

単元/題材名「 きこえにくいおともだちの おはなし 」

主 な 活 動 内 容

活動①「みんなとなかよく たのしく すごすための おねがい」

- ・障害のある児童のことを知ってもらうために、聴覚障害のある児童とどのように接すると良いのかなどについて、パワーポイントを用いてイラストと文字で提示した。



活動②「手話や指文字について しよう!」

- ・手話や指文字に興味をもってもらうために、簡単な単語の手話クイズをしたり、指文字表を配布し、自分の名前を指文字で表現したりする活動を行った。



※イラストは「いらすとや」「手話しゅわSHUSHUSHU」より引用

「手話しゅわ SHUSHUSHU」 <https://hs84.blog.jp/archives/5285895.html>



<実践の成果と課題>

<成果>

- ・交流の始めに、聴覚障害のある児童との接し方や手話、指文字について紹介したことで、交流先の児童が接し方を工夫したり、手話や指文字を使って積極的に話したりする姿が見られた。

<課題>

- ・1年生への啓発活動だったが、集中力などの観点から、手話クイズなどの問題数を精選するとよかった。

<効果的な取組・実践エピソード等>

- ・手話クイズでは、聴覚支援の児童が実際に手話をする事で、児童も一緒に参加しながら啓発活動を行うことができた。実際、交流の中で正面から話そうとしたり、肩をたたいて知らせたりする児童の様子が見られた。
- ・相手校の担任からは、初めての交流だったため、聴覚障害のある児童との関わり方を事前に紹介してもらえたことが良かったと感想をいただいた。
- ・クイズや自己紹介、手話ダンスなど、児童参加型の活動にしたことで、興味をもって話を聞いている児童が多かった。